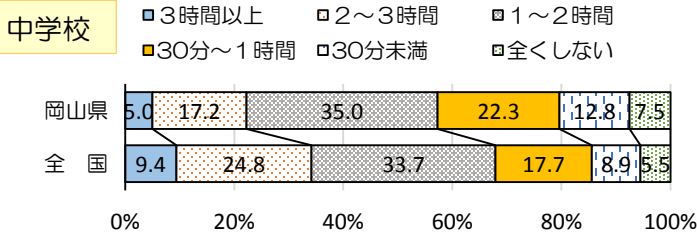


宿題の出し方や評価の在り方を小学校から学びませんか？

【岡山県の全国学習調査結果から】

Q: 学校の授業時間以外で、ふだん(月曜日から金曜日) 1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。



「1時間以上」と回答をした生徒の割合
岡山県：57.2% 全 国：67.9%

岡山県の中学生は、全国の中3生に比べ
 -10.7%、本県の小6に比べ-11.4%

宿題は提出してるし、部活動にも取り組んでるし…。
 高校入試には間に合わせるんだから。



岡山県マスコット「ももっち」

【生徒の声】

Q: 小学校のときと比べて、宿題で困ることはありますか？

- ・小学校の時は「今日は〇〇をください。」と決まっていたけど、中学校は「この日までに〇〇をください。」って言われるから、後回しにしまって提出するのを忘れてしまう…。
- ・小学校の時は毎日少しずつ宿題が出ていたけど、今はテスト前に一気にでて、テスト週間は提出物対策でテスト勉強がなかなかできない。

スマホの時間が増えてる。宿題も答えを丸写しして提出してるけど、どうしたらいいだろう…。

「一流の育て方」ムーギー・キム著、ダイヤモンド社から

子どもは「自由」にしても「強制」しても勉強しない - モチベーションと習慣・環境が大切

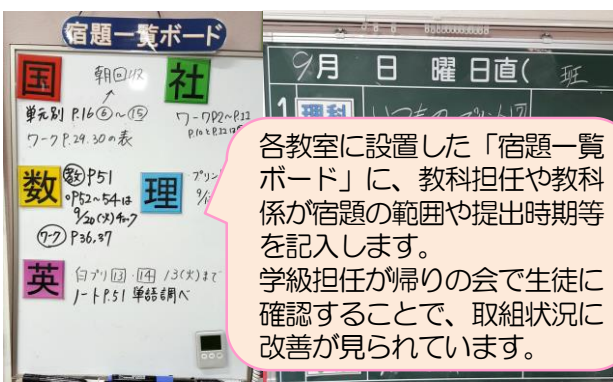
勉強で一番大切なのは、自分が得意な分野を見つけ、社会貢献を通じて周囲に感謝され、承認される喜びを教えること

いつか目標が見つかったときに、選択肢を狭めないためにも勉強が大切なのだと。そして、学問や教養は、たとえ家が泥棒に入られても、火事で全焼したとしても、何があっても誰にも持っていけることはなく、生涯自分自身の力になり、ときには励まし癒してくれるものです。…

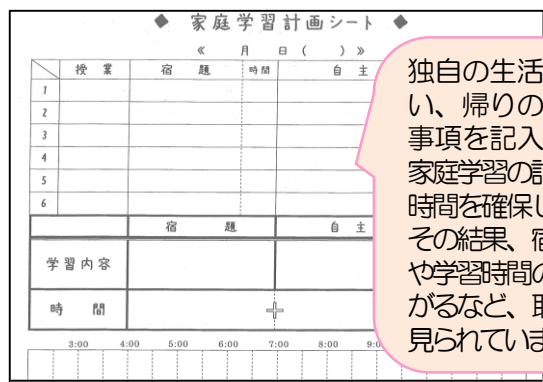
小学校

- ・授業内容の定着を意図した「読み、書き、計算のドリル」が中心で、翌朝に担任へ提出するなど、短期的なサイクルの復習が主な取組です。
- ・自主学習に積極的に取り組ませ、お手本ノートを掲示するなど、子どものやる気を喚起する工夫に取り組んでいます。

県内で実践されている中学校における効果的な取組例



各教室に設置した「宿題一覧ボード」に、教科担任や教科係が宿題の範囲や提出時期等を記入します。
 学級担任が帰りの会で生徒に確認することで、取組状況に改善が見られています。



独自の生活ノートを用い、帰りの会で、連絡事項を記入させた後、家庭学習の計画を立てる時間を確保しました。
 その結果、宿題の提出率や学習時間の増加につながるなど、取組の成果が見られています。